



# 個人投資家向け会社説明会

STOCK CODE:7177

2016年8月10日

# 企業グループ概要

# 会社概要

商号	: G M Oクリックホールディングス株式会社
設立	: 2012年1月
代表者	: 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
連結子会社数	: 5社（国内2社・海外3社）
連結従業員数	: 234名（2016年6月末日現在）
グループ事業概要	: ネット証券事業、FX事業
証券コード	: 7177（東証JASDAQスタンダード）

**GMOクリックHD** (金融持株会社)  
ホールディングス

100%

100%

国内

海外（香港・ロンドン）

**GMOクリック証券**（ネット証券・FX事業）

**FXプライム by GMO**（FX事業）

**GMO-Z.com** Forex HK Ltd.（FX事業）

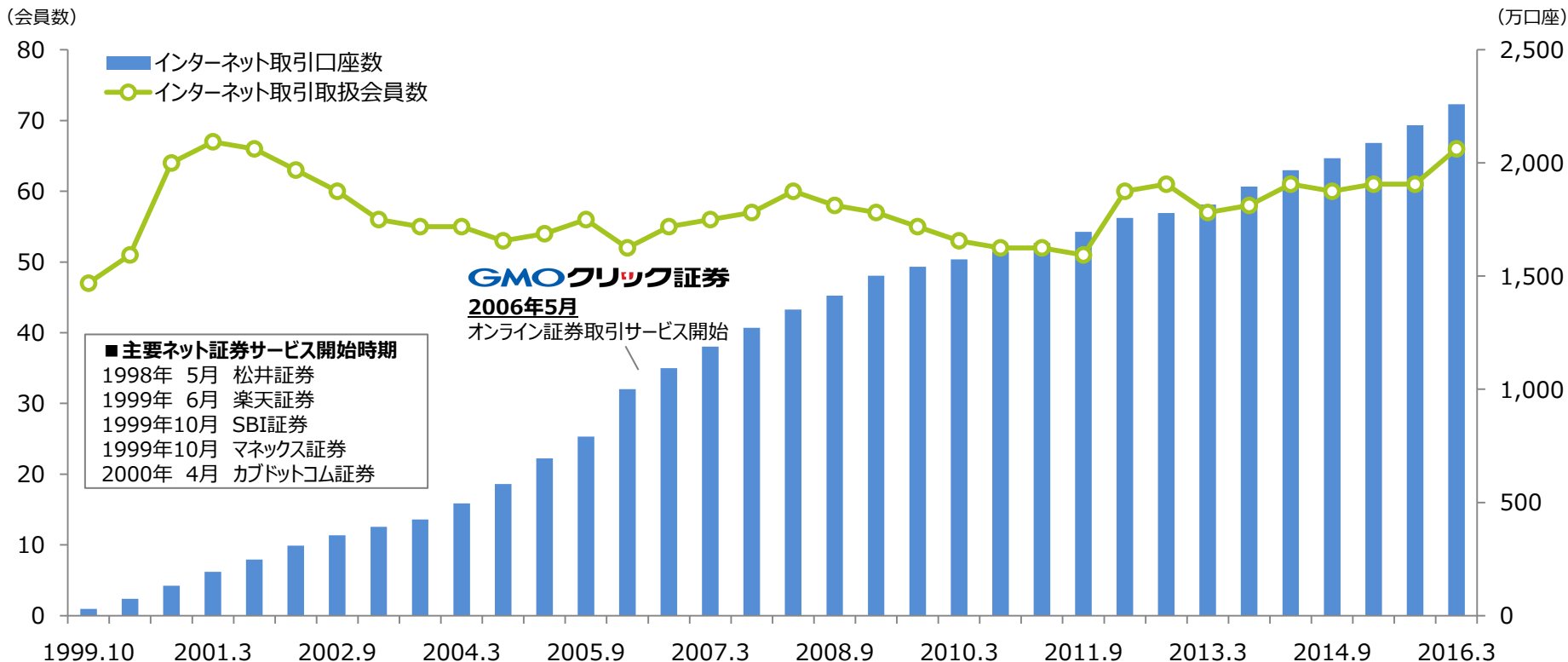
**GMO-Z.com** Bullion HK Ltd.（CFD事業）

**GMO-Z.com** Trade UK Ltd.（FX・CFD事業）

金融サービスをもっとリーズナブルに  
もっと楽しく自由に



## 1999年の株式売買委託手数料自由化を受けオンライン取引が増加



出所：日本証券業協会公表資料、各社ホームページより当社作成

“もっと安くて、使いやすいオンライン証券サービス”の提供を目指し、  
システムを内製化

当社  
グループ

## システムを自社で開発

## システム開発を外部委託

開発  
コスト

開発・運用体制の最適化、  
最新テクノロジーの活用により  
システムコストを抑制



システム会社の利益が  
上乗せされる分コストが増加

スピード・  
柔軟性

お客様の声を受けての  
スピーディーな開発が可能



新規案件の都度  
交渉・調整が必要になるため  
時間がかかる

## サービス開始10周年。主力FXのシステム刷新し、成長を加速



**2005年10月**  
GMOインターネット証券  
(現GMOクリック証券)設立

2005

2006

**2006年5月**  
オンライン証券取引サービス開始  
**2006年10月**  
店頭FX取引サービス開始



香港  
進出

**2012年8月**  
香港子会社でFXサービス  
提供開始

2010

**2010年4月**  
CFD取引サービス開始

**2012年1月**  
GMOクリックHD設立

2012

FXプライム by GMO



**2012年9月**  
FXプライム (現FXプライム  
byGMO) を連結子会社化



ロンドン  
進出

**2015年3月**  
英国子会社でFX・CFDサービス  
提供開始

2015

**2015年4月**  
GMOクリックHD上場  
(東証JASDAQ)

2016

**2016年2月**  
新FXシステム稼働開始

# 数字でみるGMOクリックHDグループ

2012年以降、年間FX取引高は**4年連続で世界No.1**※1

株式も大手ネット証券の一角を占める規模に成長

1,400 兆円

2016年3月期  
国内店頭FX※2  
年間取引高

27 兆円

2016年3月期  
株式売買代金

1,260 億円

2016年6月末  
国内店頭FX※2  
預り証拠金残高

29.1 万口座

2016年6月末  
証券取引口座数

61.5 万口座

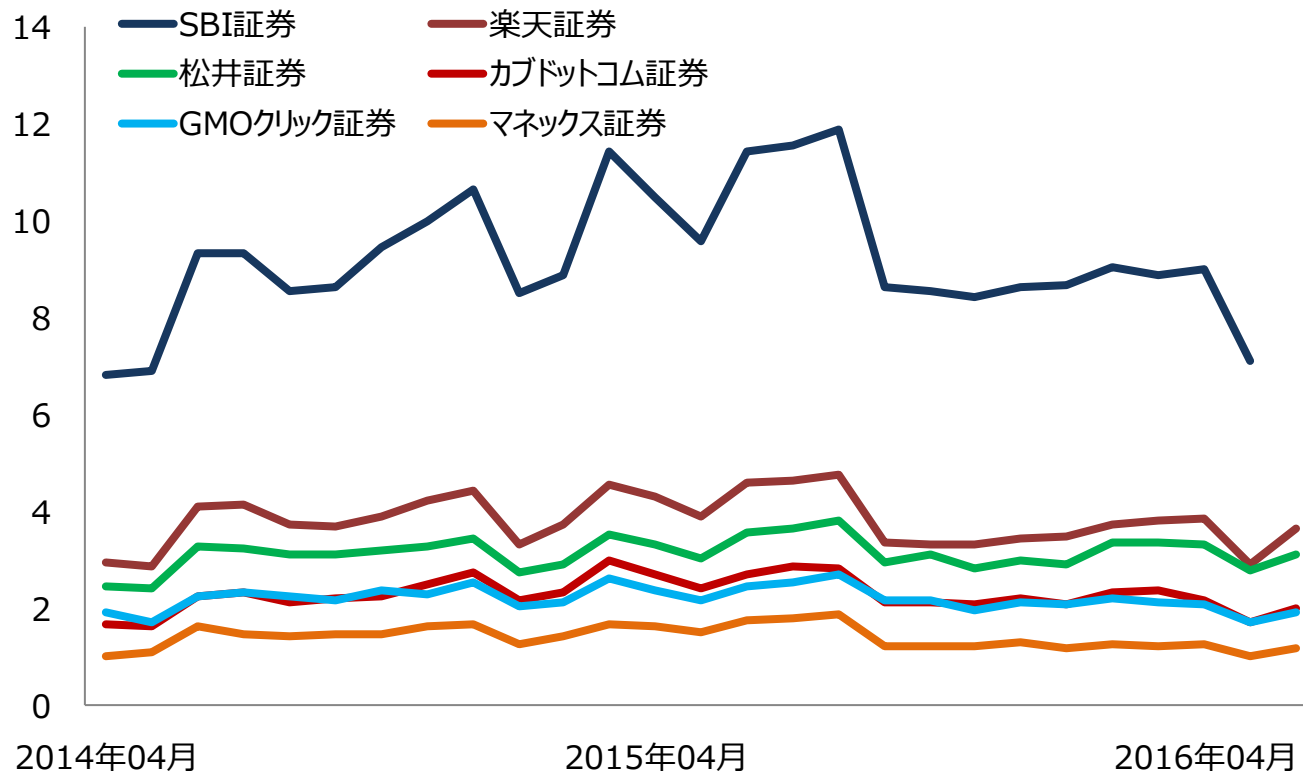
2016年6月末  
国内店頭FX※2  
口座数

※1 Finance Magnates調べ（GMOクリック証券の各年1月～12月の数値）  
※2国内店頭FXの数値は、GMOクリック証券とFXプライムbyGMOの数値の合計値



# 主要ネット証券株式売買代金比較

(兆円)



株式売買代金  
4~5位で推移

出所：各社公表資料より当社作成  
※SBI証券は2016年6月の数値は非開示

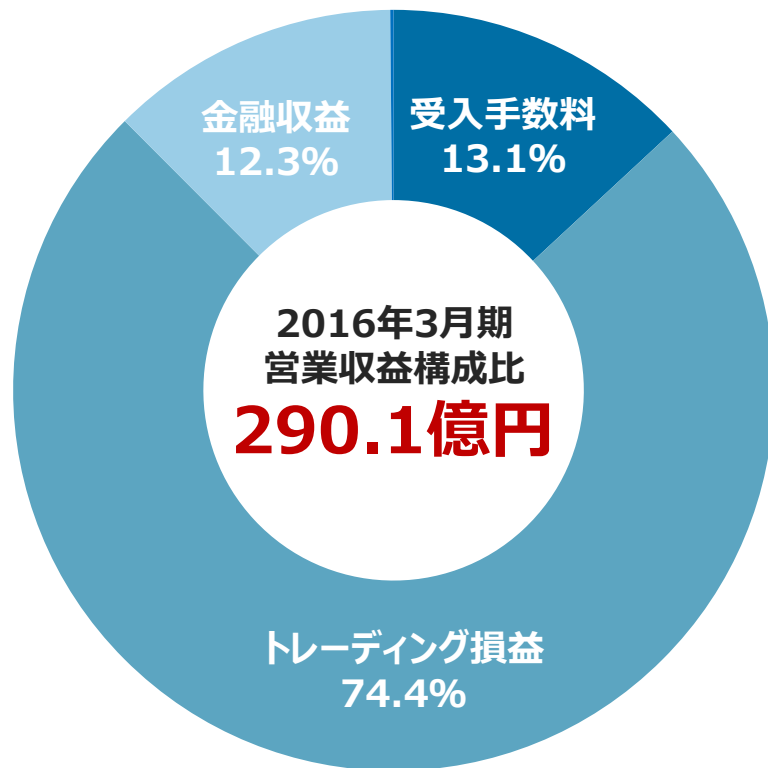
# 国内FX会社比較

会社名	取引高 (百万通貨)	預り残高 (百万円)	口座数 (口座)
GMOクリック証券	<b>No.1</b> 1,137,026	<b>No.1</b> 111,379	445,386
DMM.com証券	726,407	87,824	518,744
ワイジェイFX	341,876	92,229	306,932
ヒロセ通商	338,454	32,928	205,665
外為どっとコム	259,023	110,059	422,437
FXプライムbyGMO	94,528	14,621	169,940

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2016年6月）より当社作成

# 営業収益構成比（商品別）

FXが主力。FX等店頭デリバティブ取引が収益を牽引



## 受入手数料**37.9億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

## トレーディング損益**215.9億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

## 金融収益**35.8億円**

- 信用取引等から得られる収益

強み・ビジネスモデル

高い技術力を強みにシステムを内製化することで、サービスにおける安さと使いやすさの両方を実現



## 徹底したコストリーダーシップ戦略

自社グループで開発することで、システム開発コストを低減  
率先して手数料・スプレッドの引き下げを実施し、顧客基盤を拡大  
価格競争を起こすことで、新しいマーケットを創出

## ツール・サービスの利便性の高さ

自社グループで開発しているため、スピーディなサービス・機能の改善、  
進化が可能

# 業界最安値水準の手数料

現物 1約定ごと プラン	GMOクリック 証券	SBI証券 (スタンダード プラン)	楽天証券 (ワンショット コース)	カブドットコム 証券 (インターネット)	マネックス 証券 (PC)	松井証券
10万円	88円	139円	139円	90円	100円	1約定ごと プランなし
20万円	98円	185円	185円	180円	180円	
50万円	241円	272円	341円	250円	450円	
100万円	436円	487円	609円	990円	(成行) 1,000円 (指値) 1,500円	
150万円	528円	582円	728円	1,440円	(成行注文) 約定金額の0.1% (指値注文) 約定金額の0.15%	
3,000万円	834円	921円	1,152円	3,690円		
3,000万円超	889円	973円	1,217円	3,690円		

出所：各社ホームページより当社作成（2016年8月5日現在）  
※各社手数料は税抜表示

当社グループはFXディーリング業務をシステムにより完全自動化

他社



ディーラーによるトレード

当社グループ



システムによる自動化

## 細かなチューニングによりカバー取引を最適化

カバー先金融機関

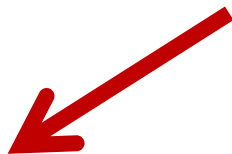
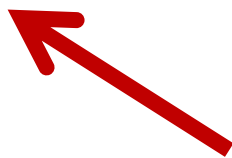
A社



B社



C社



その瞬間における  
最適カバー先へカバー

当社グループ



最適  
カバー先  
判定

A社特徴…

B社特徴…

C社特徴…

(上記は概念図)



FXについて

そもそもFXとはどのような金融商品でしょうか？  
動画をご覧ください。

外国通貨を売買することによって差益を狙う商品

## FXの魅力・特長

1. 少ない資金でも取引ができること
2. 円高も円安も利益のチャンス
3. スワップ金利を受け取れる
4. 投資家が取引しやすい環境の整備

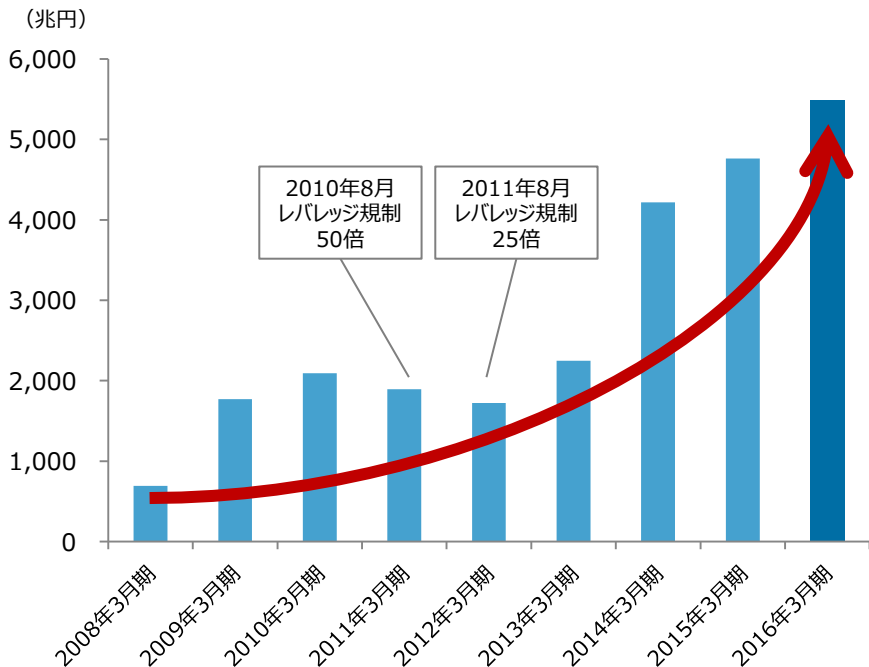


※スワップ金利は、ニューヨーククローズ（1日の取引終了時間）をまたいで建玉を保有すると発生  
取引の仕方によって、スワップ金利は受け取ることも、支払うこともあります

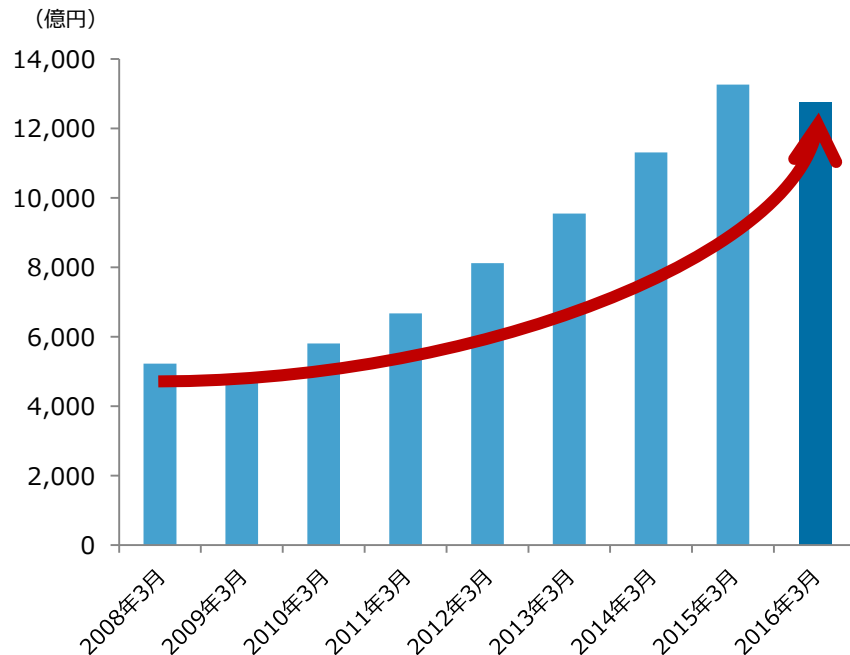
# 国内店頭FXの市場規模

国内店頭FXは成長市場。今後もこの成長は続くものと見ている

## 店頭FX取引高

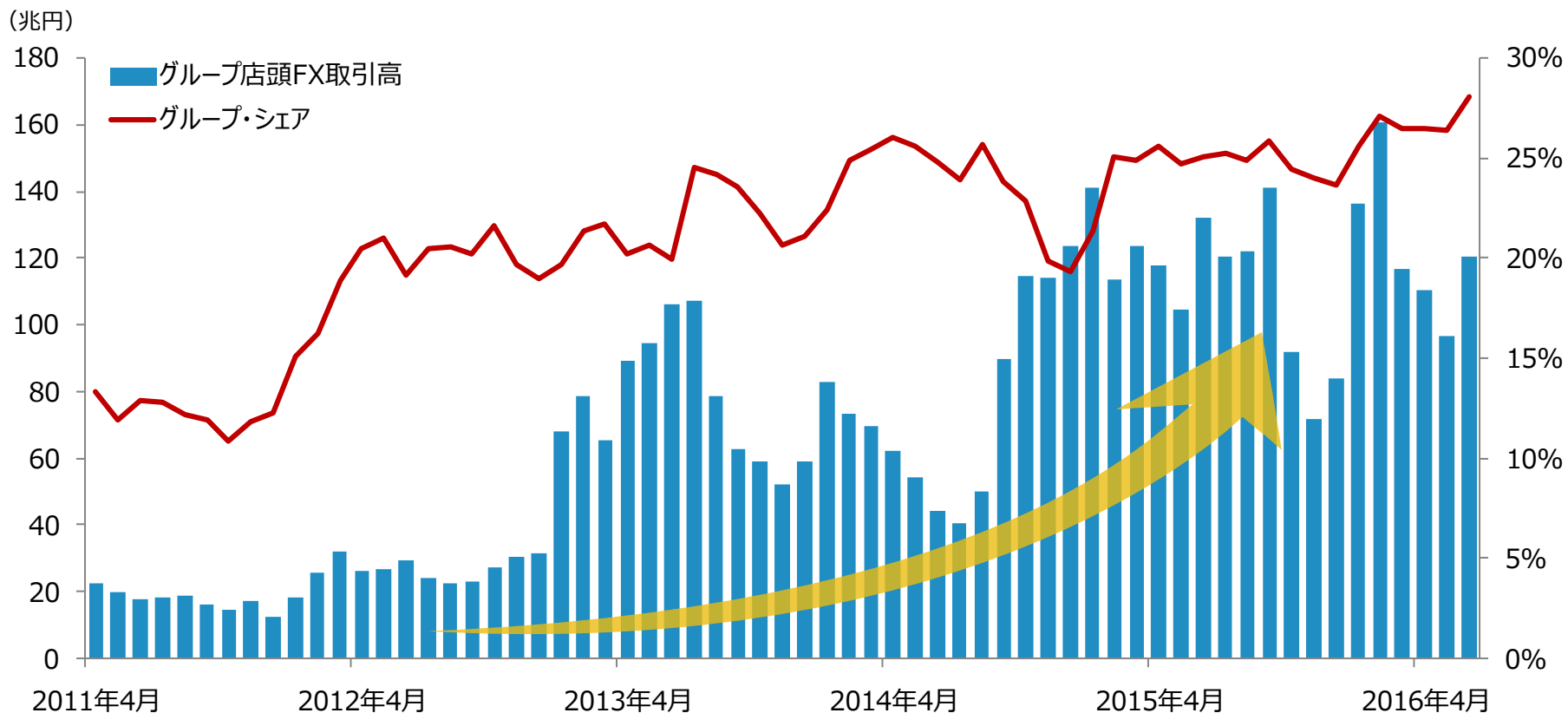


## 店頭FX預り証拠金残高



出所：金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

# 国内店頭FXにおける当社グループ取引高・シェアの推移



出所：当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値（グループ会社からのカバー取引含む）。2015年3月以降は、GOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値

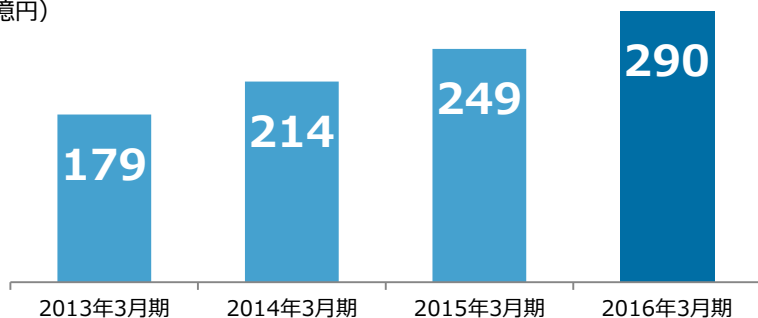
※グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出（円転換レートは当社グループ各社とは異なるためシェアは概算）

業績・株主還元

収益・利益ともに順調に成長。2016年3月期は過去最高業績

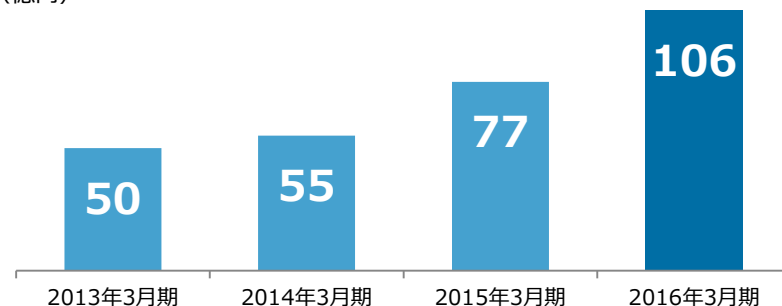
## 営業収益

(億円)



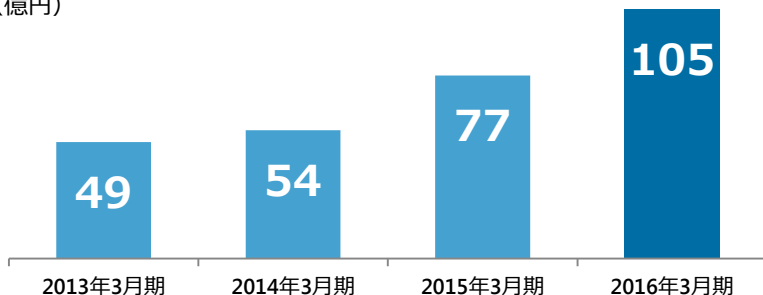
## 営業利益

(億円)



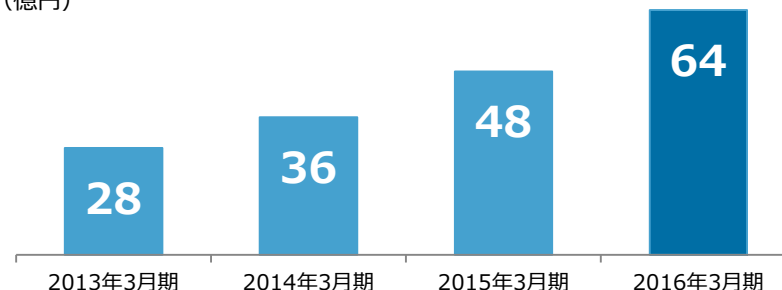
## 経常利益

(億円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



# 最新決算サマリー

営業収益は四半期ベースで過去最高を記録した前期1Qと同水準、  
各利益は四半期ベースで過去最高を更新

(億円)	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q	増減額	前年同期比 増減率
営業収益	78.3	<b>78.0</b>	▲ 0.3	▲ 0.4%
純営業収益	73.5	<b>74.9</b>	+ 1.4	+ 1.9%
営業利益	30.8	<b>33.7</b>	+ 2.8	+ 9.3%
経常利益	30.9	<b>33.2</b>	+ 2.3	+ 7.6%
最終利益	18.2	<b>22.7</b>	+ 4.5	+ 24.8%



## 目標

連結配当性向

**50%** (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 3月期	<b>9.70円</b>	—	—	—	—
2016年 3月期	<b>6.38円</b>	<b>5.60円</b>	<b>5.34円</b>	<b>5.00円</b>	<b>22.32円</b>

※2017年3月期 第1四半期末配当は、現時点の予想であり、2016年8月開催予定の取締役会にて正式に決議予定です。

## 優待の内容

**GMOクリック証券** における

1. 売買手数料相当額最大15,000円キャッシュバック
2. GMOクリックHD株式買付手数料相当額キャッシュバック

## 優待基準日

2016年6月末日、2016年12月末日

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。  
<https://www.gmo-click.com/ir/stock/benefit.html>

さらなる成長に向けて

## 方針

## 強いものをより強くする

国内  
事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

海外  
事業

- 海外事業の黒字定着し攻めの体制

新規  
事業

- 新たな金融商品・事業の展開

FX

- 新FXシステムのチューニングによる収益率向上
- 取引ツールのユーザビリティ向上

CFD

- 取扱銘柄の拡充
- 取引ツールの拡充

株式

- 投信、貸株サービス等の証券関連サービスの充実
- アライアンスの推進

海外

- 香港・ロンドン一丸となって中国をメインターゲットにマーケティング実施（Z.comブランドでの展開）

新規

- 銀行業への参入
- アライアンスの推進

# あおぞら信託銀行との資本提携により銀行業へ参入

“IT×金融”で、新しい金融領域への挑戦を開始  
～技術力を活かしたシステム開発・銀証連携サービス～

## 新ネット銀行

あおぞら信託銀行

次世代型ネット銀行  
「インターネット銀行準備室」を  
7月に設置  
2017年度中に開業予定

## GMOクリック証券

銀証連携サービスによる  
顧客満足度向上  
新ネット銀行からの  
新規顧客流入等を期待



あおぞら銀行

GMO INTERNET



ホールディングス

- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は4年連続世界一
- 株式は大手ネット証券の一角
- 主力のFXを更に強化し既存/新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

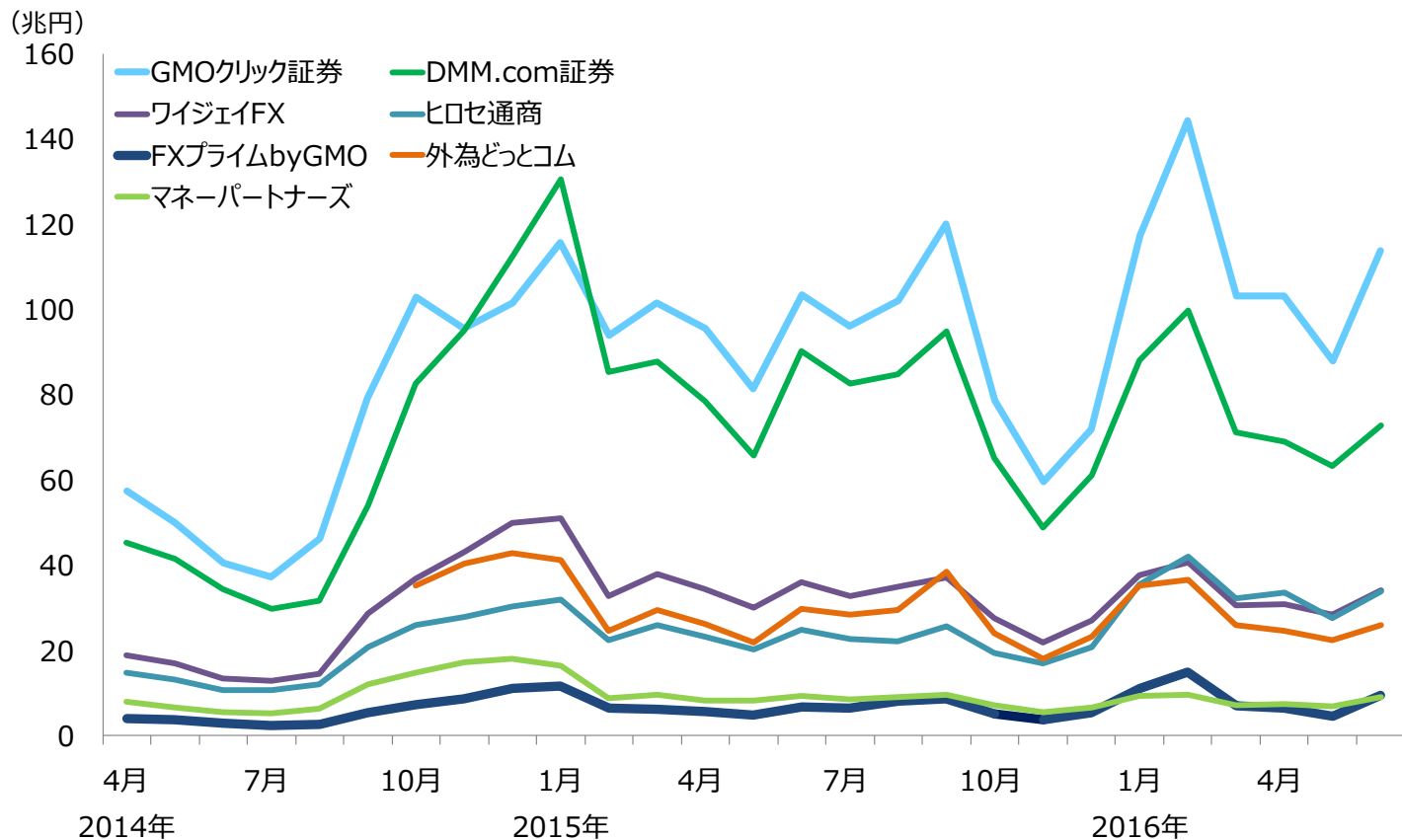
IT×金融の領域において、  
イノベーションを起こし続ける  
圧倒的No.1企業グループを目指します





# Appendix

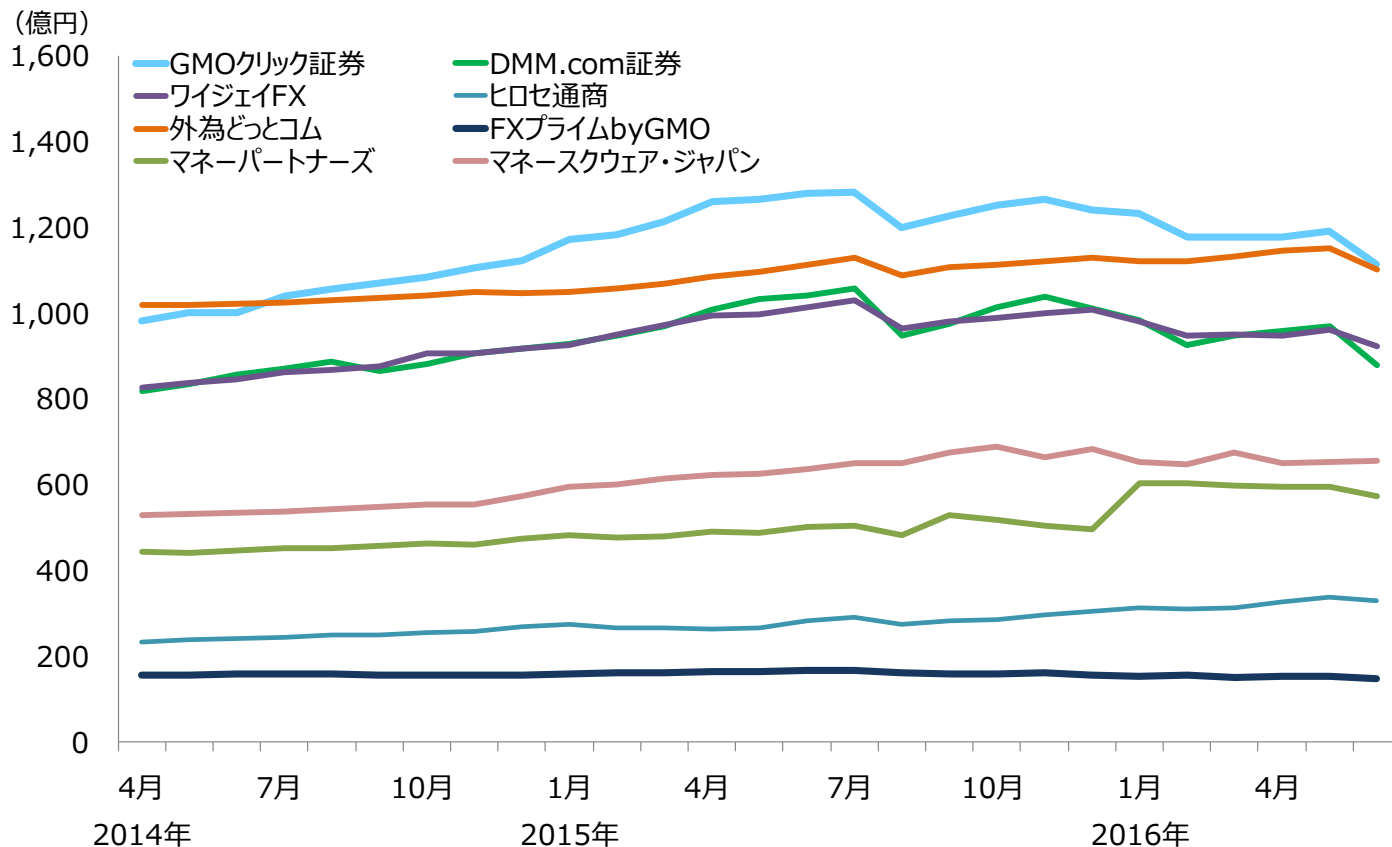
# 国内FX会社比較 | 取引高



FX取引高  
第1位

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年6月）より当社作成  
※百万通貨は1億円として換算

# 国内FX会社比較 | 預り証拠金残高

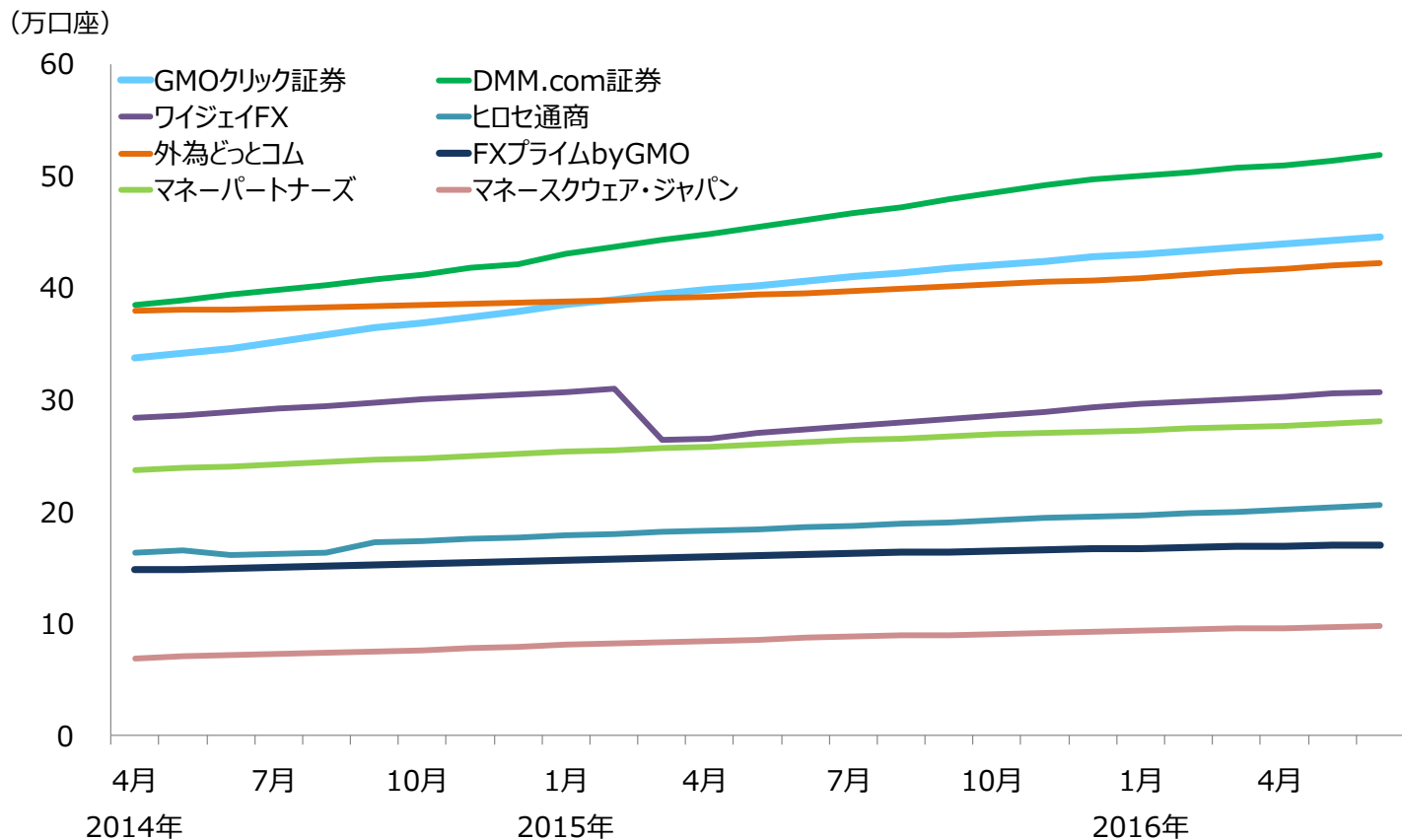


預り証拠金  
残高  
第**1**位

2016年6月は  
Brexitの影響で  
預り証拠金残高は減少も  
2016年7月は増加

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年6月）より当社作成

# 国内FX会社比較 | 口座数



口座数  
**61.5万**  
口座

2016年6月末  
グループ合計口座数

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2016年6月）より当社作成

# 会社概要

会社名	GMOクリックホールディングス株式会社 (GMO CLICK Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに 附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	393百万円 (2016年6月末日現在)
連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライム by GMO GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国)
連結従業員数	234名 (2016年6月末日現在)

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	4月1日～翌3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL：0120-232-711（東京） / 0120-094-777（大阪） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
公告方法	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a> なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
	電子公告 公告URL <a href="https://www.gmo-click.com/">https://www.gmo-click.com/</a> ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。